

1月16日会社より提案を受ける!

平成31年3月ダイヤ改正等について

主な内容は!

実施日: 2019年3月16日

新幹線

○東北・北海道新幹線

青函トンネル内最高速度向上による速達化

「はやて」の「はやぶさ」化による速達化

○上越新幹線

「とき」「たにがわ」へE7系を投入

○中央線

E353系車種統一と停車駅見直しによる速達化

在来線

富士急行線直通特急「富士回遊」新設

新着席サービス開始

特急「はちおうじ」「おうめ」新設

○山手線

品川駅電留線廃止に伴う深夜早朝帯の輸送体系見直し

ホームドア設置拡大等による表定時分見直し

○横須賀線

朝通勤時間帯増発による混雑緩和

○車両運用・車両配置数の見直し

東京総合車両センター＝E235系への置き換え 松戸車両センター＝209系の転配

○乗務員運用の見直し

乗務員勤務制度の見直し 列車キロ減 他支社との持ち替え 上越新幹線の車種変更など

○折返し時間の見直し

大田運輸区＝東神奈川乗泊新設 新宿運輸区(車掌)＝東海道・SS行路POSなし

丸の内車掌区＝上越新幹線E7系投入 上野車掌区＝宇都宮・高崎・常磐線POSなし

大崎・池袋運輸区(運転士)＝大崎駅ホーム入出区新設

上野運転区＝新宿～秋葉原駅間便乗新設 東京電車区＝新習志野駅ホーム出区新設

○波動要員の見直し

東京車掌区・上野車掌区・大崎運輸区(運転士)＝減

上野新幹線第二運転所・田端運転所・田町運転区＝増

○検修及び構内作業の見直し

東京総合車両センター・東京新幹線車両センター・尾久車両センター・松戸車両センター

○作業体制の見直し

新宿運輸区(運転士)・田町運転区・東京電車区＝計画担当の作業体制見直し(減)

尾久車両センター＝仕業検査体制の見直し(減)

以上を受け、①訓練実施計画、②折返し時間の見直し、③尾久車両センター仕業検査体制の見直し、について、改めて書面にて示すことを求める。今改正は12月14日にプレスリリースされ、資料が手交された。勉強会について、開催しないことを東京支社から通告を受けた。クロス提示や提案日程についても東京地本の主張が受け入れられずに今日に至っており、労使議論が遅れていると認識している。乗務員勤務制度の見直しによる行路作成によって100名規模の効率化が提示されている。進め方についても東京支社によって一方的に変えられていることから、例年とは違った重大な決意で対峙していく。乗務員勤務制度・中央線特急新着席サービスについて申し入れている。大崎運輸区が行路移管については重大な問題と認識している。ダイヤ改正を議論していくために、これらの議論をつくすこと!

鉄道の安全と働きがいを向上させるダイヤ改正をめざそう!
問題解決のため、東京地本は重大な決意で議論をしつづけます!